



中小企業景況レポート

No.14 中栄信用金庫 地域支援部

平成 27 年 1 月～3 月実績と平成 27 年 4 月～6 月見込み

◆調査概要

調査時期 平成 27 年 3 月上旬
調査地域 秦野市、伊勢原市、平塚市、厚木市、開成町
調査企業数 330 社
回答企業数 324 社

【調査先及び回答状況】

	調査先	回答数	回答率
製造業	91	88	96.7
卸売業	23	23	100.0
小売・飲食業	66	65	98.4
サービス業	50	50	100.0
建設業	59	59	100.0
不動産業	41	39	95.1
合 計	330	324	98.1

◆1 月～3 月期の概況

～年末需要の反動減による業況悪化～

当金庫主要営業地区内における中小企業を対象に景気動向調査を実施した結果、全業種総合の業況判断 D.I. は▲7.5 を示し、前回調査（平成 26 年 10 月～12 月期）に比べ 3.1 ポイントの悪化となりました。これは、年末需要に対する反動減や円安による原材料高騰、慢性的な人手不足、価格転嫁の遅れによる収益圧迫が影響しており先行きへの不安を招いております。しかし、製造業や建設業についてはプラス域を堅持しており、今後、大手企業の賃上げによる影響も消費押し上げ効果となり、中小企業にどのような影響が出るのか今後の景気動向が注視されます。また、一部企業においては、平成 26 年度補正予算の施策である、ものづくり補助金・省エネ補助金等を活用した設備投資を検討している企業も見受けられ、今後の政府の施策にも関心が高まります。

項目別にみると、売上実績 D.I. は前回調査比 10.8 ポイント悪化の 0.3、収益実績 D.I. も前回調査比 11.8 ポイント悪化の▲7.1 となっております。また、仕入価格 D.I. は 3.7 ポイント上昇感が弱まり 32.9、資金繰りは 4.7 ポイント悪化の▲17.1、人手過不足については 4.7 ポイント不足感が弱まり▲22.0 となっております。

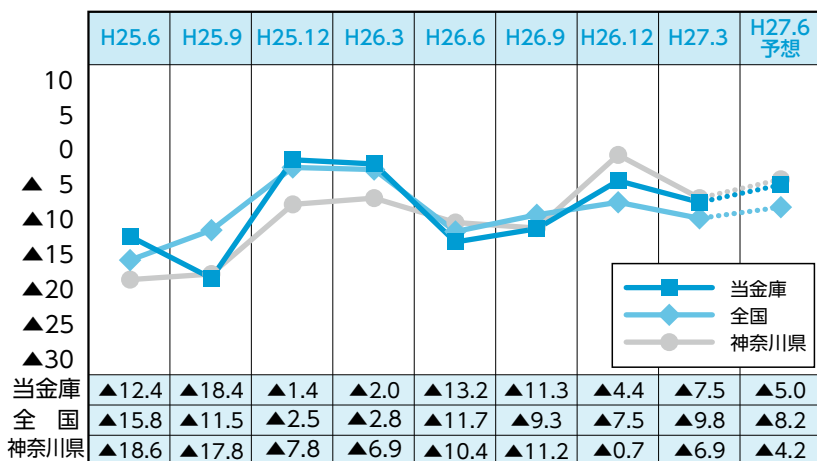
また、業種別の景況感は、製造業が 4.5 ポイント改善の 5.7、サービス業が 4.4 ポイント改善の▲14.0、建設業が 6.7 ポイント悪化の 8.5、不動産業が 7.9 ポイント悪化の▲15.4、卸売業が 8.6 ポイント悪化の▲4.3、小売・飲食業が 11.0 ポイント悪化の▲31.3 となっております。（業種別の詳細については、次頁以降をご参照ください。）

なお、全国の中小企業業況判断 D.I. は、前回調査から 2.3 ポイント悪化の▲9.8、神奈川県内は、6.2 ポイント悪化の▲6.9 となっております。（全国と神奈川県の D.I. 値については、信金中央金庫による調査に基づいております。以下同様。）

◆4 月～6 月期の見通し

来期の業況判断予想は 2.5 ポイント改善の▲5.0、売上額 D.I. は 0.6 ポイント改善の 0.9、収益 D.I. は 2.1 ポイント改善の▲5.0 の予想となり、業種別では、製造業横ばい、サービス業、建設業以外の 3 業種は改善の見込みとなっております。

業況判断 D.I. 値（全業種）



全国、神奈川県の業況判断 D.I. 値は、信金中央金庫 地域・中小企業研究所が全国約 16,000（うち神奈川県 約 480）の中小企業を対象に実施している「全国中小企業景気動向調査」の調査データに基づいております。

D.I. 値とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「良い」「やや良い」と回答した企業の割合から、「悪い」「やや悪い」と回答した企業の割合を引いた値です。値が小さいほど業況判断は悪いということになります。

業種別景気天気図

	前 期	今 期	予 想
総 合			
製 造 業			
卸 売 業			
小売・飲食業			
サービス業			
建 設 業			
不 動 産 業			

※この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成しました。

好調 ← → 低調
良い 悪い

製造業

概況

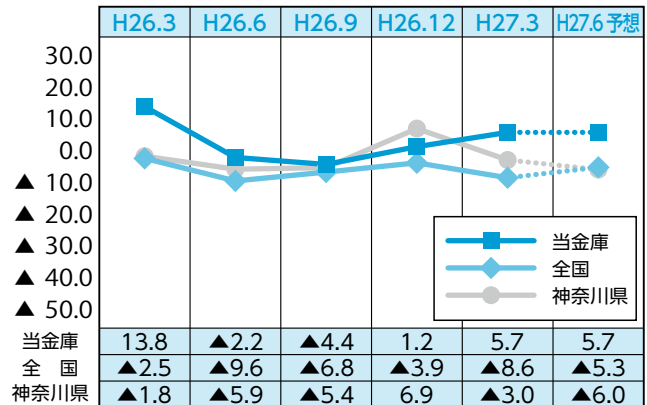
製造業の業況判断 D.I. は前回調査比 4.5 ポイント改善の 5.7 となりました。

項目別では、売上額 D.I. は 2.1 ポイント改善の 11.3、収益 D.I. は 4.6 ポイント悪化の 3.4 となっております。円安を追い風に輸出関連企業を中心とした受注増加に加え、消費者意識指標における耐久消費財の買い時判断も持ち直しを見せるなど、国内向けの生産も徐々に持ち直していると思われます。また、国の補助金を活用した設備投資の検討や試作品の受注が増加していることから業況は回復傾向であります。しかしながら、原材料価格の仕入コスト高騰や価格競争による販売価格の下落により利幅の縮小が依然として課題となっております。

なお、全国は 4.7 ポイント悪化の ▲8.6 となっており、神奈川県は 9.9 ポイント悪化の ▲3.0 となっております。

来期の予想業況判断については、横ばいの 5.7 となっております。

業況判断 D.I. 値



売上額

前期実績	35.6	38.0	26.4	D.I. 9.2
当期実績	34.0	43.3	22.7	11.3
来期予想	27.2	50.1	22.7	4.5
前年同期比	39.7	39.9	20.4	19.3

販売価格

前期実績	6.8	91.0	2.2	D.I. 4.6
当期実績	4.5	88.7	6.8	▲2.3
来期予想	4.5	91.0	4.5	0.0

在庫

前期実績	6.8	87.5	5.7	D.I. 1.1
当期実績	6.8	92.1	1.1	5.7
来期予想	4.5	94.4	1.1	3.4

人手

前期実績	8.1	57.1	34.8	D.I. ▲26.7
当期実績	11.3	68.3	20.4	▲9.1
来期予想	7.9	71.7	20.4	▲12.5

収益

前期実績	29.8	48.4	21.8	D.I. 8.0
当期実績	28.4	46.6	25.0	3.4
来期予想	20.4	55.8	23.8	▲3.4
前年同期比	34.0	43.3	22.7	11.3

原材料価格

前期実績	41.3	57.6	1.1	D.I. 40.2
当期実績	37.5	62.5		37.5
来期予想	19.3	80.7		19.3

資金繰り

前期実績	19.5	61.0	19.5	D.I. 0.0
当期実績	15.9	62.6	21.5	▲5.6
来期予想	13.6	69.4	17.0	▲3.4

設備状況

前期実績	8.0	74.8	17.2	D.I. ▲9.2
当期実績	5.8	76.6	17.6	▲11.8
来期予想	4.7	74.2	21.1	▲16.4

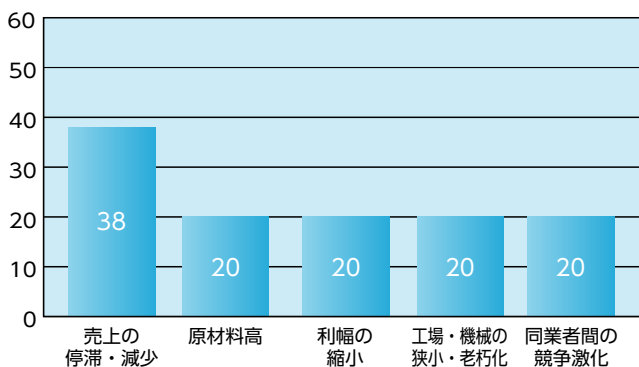
当期実績…27年 1～3 月期
来期予想…27年 4～6 月期

良い、増加、上昇
過剰、楽

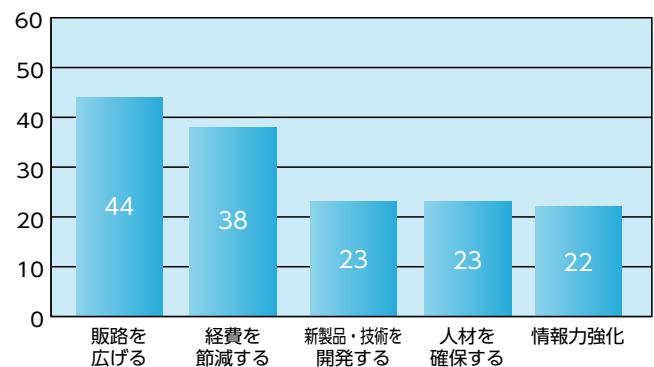
普通、変わらず
適正

悪い、減少、下降
不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



卸 売 業

概 況

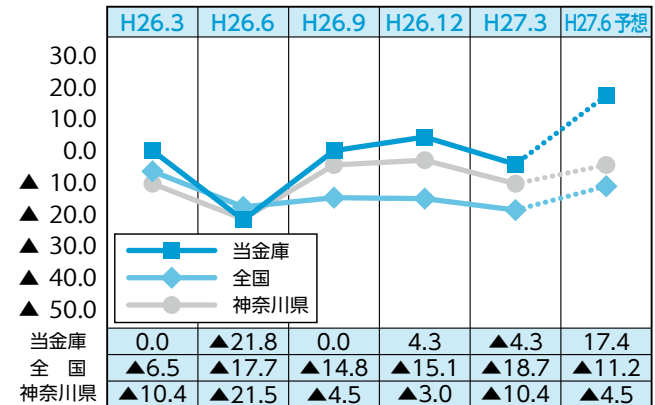
卸売業の業況判断D.I.は前回調査比8.6ポイント悪化の▲4.3となりました。

項目別では、売上額D.I.は前回17.3ポイント悪化の4.4、収益D.I.は17.4ポイント悪化の4.3となっております。依然として、円安による仕入価格の高騰による影響が収益を圧迫しており、価格転嫁に至っていない企業が未だ多く、業況の改善には至らなかったと見られます。しかし、新東名高速道路の受注も増加傾向であるとの声も一部の企業で見受けられ、建設業への建材卸を中心に業況を牽引していくと見られます。

なお、全国は3.6ポイント悪化の▲18.7となっております、神奈川県は7.4ポイント悪化の▲10.4となっております。

来期の予想業況判断については、21.7ポイント改善の17.4となっております。

業況判断D.I.値



売 上 額

前期実績	43.4	34.9	21.7	D.I. 21.7
当期実績	30.4	43.6	26.0	4.4
来期予想	26.0	43.6	30.4	▲4.4
前年同期比	34.7	43.6	21.7	13.0

販 売 価 格

前期実績	21.7	74.0	4.3	D.I. 17.4
当期実績	8.6	82.8	8.6	0.0
来期予想	8.6	82.8	8.6	0.0

在 庫

前期実績	13.0	78.4	8.6	D.I. 4.4
当期実績	17.3	74.1	8.6	8.7
来期予想	13.0	78.4	8.6	4.4

人 手

前期実績	4.3	65.3	30.4	D.I. ▲26.1
当期実績	4.3	61.0	34.7	▲30.4
来期予想	4.3	78.4	17.3	▲13.0

収 益

前期実績	43.4	34.9	21.7	D.I. 21.7
当期実績	26.0	52.3	21.7	4.3
来期予想	17.3	56.7	26.0	▲8.7
前年同期比	21.7	52.3	26.0	▲4.3

仕 入 価 格

前期実績	34.7	65.3		D.I. 34.7
当期実績	30.4	69.6		30.4
来期予想	26.0	74.0		26.0

資 金 繰 り

前期実績	8.6	65.4	26.0	D.I. ▲17.4
当期実績	4.3	74.0	21.7	▲17.4
来期予想	8.6	78.4	13.0	▲4.4

設 備 状 況

前期実績	4.3	87.1	8.6	D.I. ▲4.3
当期実績		86.4	13.6	▲13.6
来期予想		86.4	13.6	▲13.6

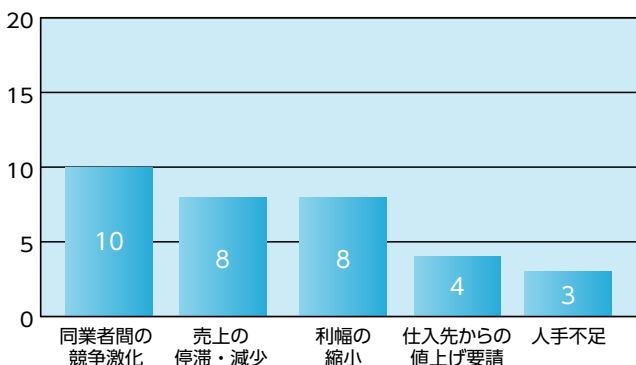
当期実績…27年 1～ 3月期
来期予想…27年 4～ 6月期

□ 良い、増加、上昇
過剰、楽

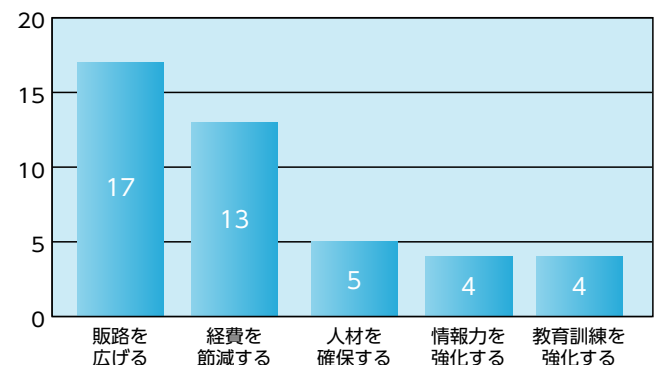
□ 普通、変わらず
適正

□ 悪い、減少、下降
不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



小売・飲食業

概況

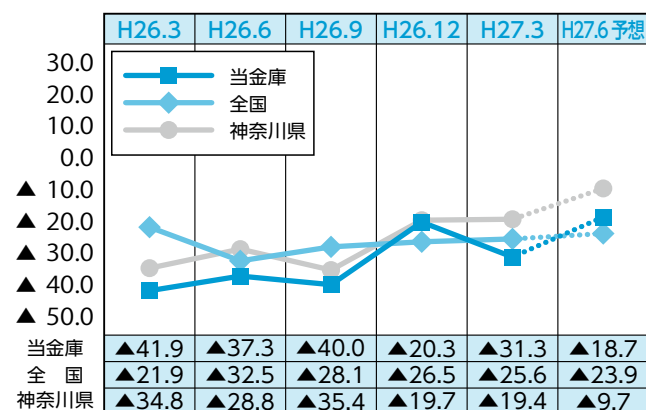
小売・飲食業の業況判断 D.I. は前回調査から 11.0 ポイント悪化の▲31.3 となりました。

項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 27.9 ポイント悪化の▲24.7、収益 D.I. は 27.7 ポイント悪化の▲32.3、資金繰りは 1.1 ポイント悪化の▲27.7 となっております。依然として、価格感応度が高い最寄品等に対しては、消費者の節約志向が続いていることに加え、年末需要の反動減や円安による原材料高騰が影響しており、収益を圧迫している企業が見受けられます。しかしながら、小売・飲食業は個店の品揃えや商品力に依るところが大きく、好調な企業においては積極的な設備投資が見られます。

なお、全国は 0.9 ポイント改善の▲25.6、神奈川県は 0.3 ポイント改善の▲19.4 となっております。

来期の予想業況判断については、12.6 ポイント改善の▲18.7 となっております。

業況判断 D.I. 値



売上額

前期実績	32.8	37.6	29.6	D.I. 3.2
当期実績	15.3	44.7	40.0	▲24.7
来期予想	28.1	48.5	23.4	4.7
前年同期比	24.6	44.7	30.7	▲6.1

販売価格

前期実績	20.3	65.7	14.0	D.I. 6.3
当期実績	12.3	81.6	6.1	6.2
来期予想	10.9	86.0	3.1	7.8

在庫

前期実績	20.3	78.2	1.5	D.I. 18.8
当期実績	15.3	78.6	6.1	9.2
来期予想	7.8	90.7	1.5	6.3

人手

前期実績	6.4	67.8	25.8	D.I. ▲19.4
当期実績	4.6	64.7	30.7	▲26.1
来期予想	4.6	68.9	26.5	▲21.9

収益

前期実績	25.0	45.4	29.6	D.I. ▲4.6
当期実績	13.8	40.1	46.1	▲32.3
来期予想	25.0	51.6	23.4	1.6
前年同期比	21.5	37.0	41.5	▲20.0

仕入価格

前期実績	50.0	42.2	7.8	D.I. 42.2
当期実績	41.5	57.0	1.5	40.0
来期予想	28.1	68.8	3.1	25.0

資金繰り

前期実績	4.6	64.2	31.2	D.I. ▲26.6
当期実績	6.1	60.1	33.8	▲27.7
来期予想	4.6	64.2	31.2	▲26.6

設備状況

前期実績	4.8	77.5	17.7	D.I. ▲12.9
当期実績	4.6	81.6	13.8	▲9.2
来期予想	1.5	87.8	10.7	▲9.2

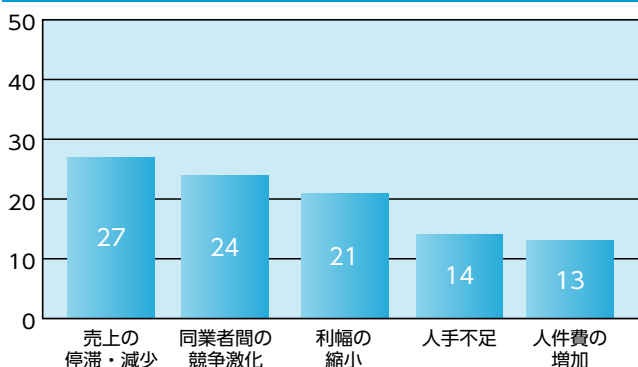
当期実績…27年 1～3月期
来期予想…27年 4～6月期

良い、増加、上昇
過剰、楽

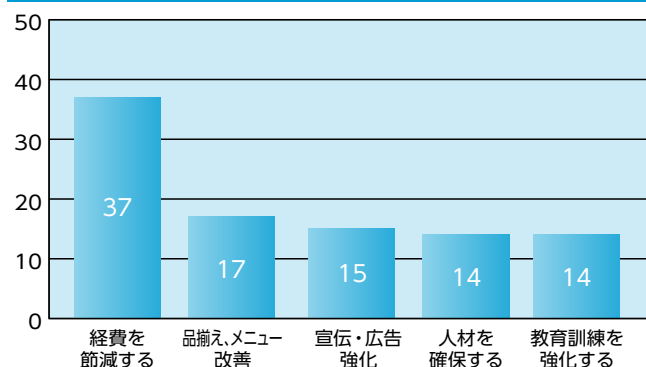
普通、変わらず
適正

悪い、減少、下降
不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



サービス業

概況

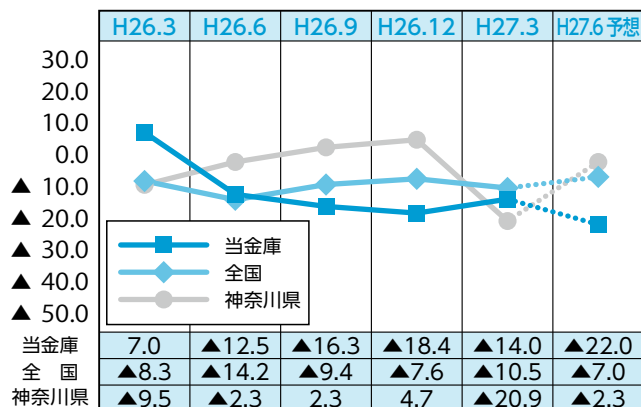
サービス業の業況判断D.I.は前回調査比4.4ポイント改善の▲14.0となりました。

項目別では、売上額D.I.は前回調査比2.1ポイント悪化の6.1、収益D.I.は12.3ポイント悪化の▲6.1、資金繰りは2.8ポイント改善の▲28.5となっております。今回調査においては、季節的要因による売上減少に加え、同業者間の競争激化を経営上の問題点として挙げる企業が増加しており、価格競争の影響が売上・収益の減少に繋がっております。

なお、全国は2.9ポイント悪化の▲10.5となっており、神奈川県は25.6ポイント悪化の▲20.9となっております。

来期の予想業況判断については、8.0ポイント悪化の▲22.0となっております。

業況判断D.I.値



売上額

前期実績	32.6	43.0	24.4	D.I. 8.2
当期実績	34.6	36.9	28.5	6.1
来期予想	30.6	47.0	22.4	8.2
前年同期比	36.0	30.0	34.0	2.0

料金価格

前期実績	-2.0	85.8	12.2	D.I. ▲10.2
当期実績	-8.1	83.8	8.1	0.0
来期予想	-4.0	87.9	8.1	▲4.1

資金繰り

前期実績	-4.1	60.5	35.4	D.I. ▲31.3
当期実績	-6.1	59.3	34.6	▲28.5
来期予想	-6.1	61.3	32.6	▲26.5

設備状況

前期実績	-4.0	69.5	26.5	D.I. ▲22.5
当期実績	-6.1	69.5	24.4	▲18.3
来期予想	-4.3	71.8	23.9	▲19.6

収益

前期実績	30.6	45.0	24.4	D.I. 6.2
当期実績	26.5	40.9	32.6	▲6.1
来期予想	22.4	47.0	30.6	▲8.2
前年同期比	28.0	38.0	34.0	▲6.0

材料価格

前期実績	36.7	59.3	4.0	D.I. 32.7
当期実績	27.0	62.6	10.4	16.6
来期予想	27.0	68.9	4.1	22.9

人手

前期実績	-8.3	58.4	33.3	D.I. ▲25.0
当期実績	-10.0	56.0	34.0	▲24.0
来期予想	-8.0	56.0	36.0	▲28.0

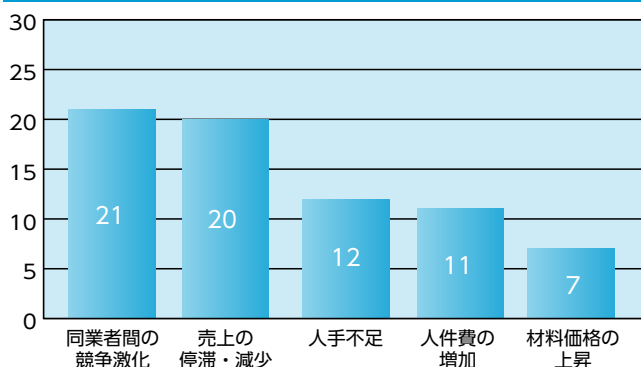
当期実績…27年 1～ 3月期
来期予想…27年 4～ 6月期

良い、増加、上昇
過剰、楽

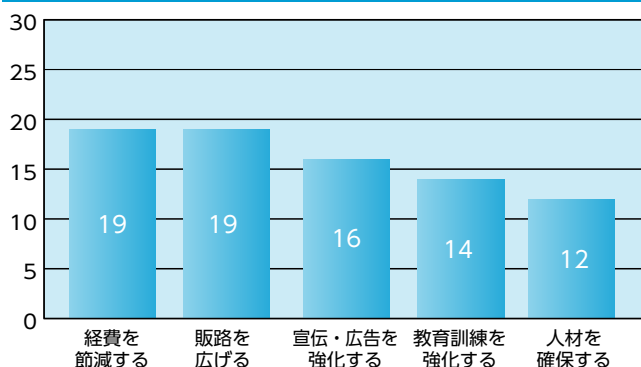
普通、変わらず
適正

悪い、減少、下降
不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



建設業

概況

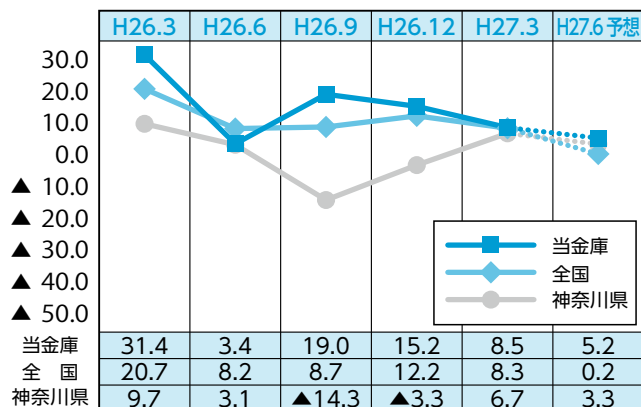
建設業の業況判断 D.I. は前回調査比 6.7 ポイント悪化の 8.5 となりました。

項目別では、売上額 D.I. は前回調査比から 23.7 ポイント悪化の 8.5、収益 D.I. は 13.6 ポイント悪化の▲5.1 となっております。建設業においては、年末に掛けて受注が集中した影響により業況悪化に繋がっております。また、依然として人手不足や円安に伴う建築資材の高騰を課題としている企業が見受けられ、材料価格は 10.2 ポイント上昇感が強まっており収益環境の悪化に繋がっておりますが、公共工事、民間工事共に安定した受注を確保する企業が多く見られ、プラス域を堅持しております。

なお、全国は 3.9 ポイント悪化の 8.3 となっており、神奈川県は 10.0 ポイント改善の 6.7 となっております。

来期の予想業況判断については、3.3 ポイント悪化の 5.2 となっております。

業況判断 D.I. 値



売上額

前期実績	44.0	44.2	11.8	D.I. 32.2
当期実績	32.2	44.1	23.7	8.5
来期予想	25.4	45.8	28.8	▲3.4
前年同期比	37.2	27.3	35.5	1.7

請負価格

前期実績	16.9	67.9	15.2	D.I. 1.7
当期実績	23.7	66.2	10.1	13.6
来期予想	15.2	71.3	13.5	1.7

在庫

前期実績	6.7	91.7	1.6	D.I. 5.1
当期実績	1.7	98.3		1.7
来期予想	1.6	98.4		1.6

人手

前期実績	1.6	52.7	45.7	D.I. ▲44.1
当期実績	59.4	40.6		▲40.6
来期予想	1.6	66.2	32.2	▲30.6

収益

前期実績	23.7	61.1	15.2	D.I. 8.5
当期実績	16.9	61.1	22.0	▲5.1
来期予想	20.3	57.7	22.0	▲1.7
前年同期比	22.0	45.8	32.2	▲10.2

材料価格

前期実績	47.4	52.6		D.I. 47.4
当期実績	57.6	42.4		57.6
来期予想	38.9	59.5	1.6	37.3

資金繰り

前期実績	13.5	74.7	11.8	D.I. 1.7
当期実績	8.4	66.2	25.4	▲17.0
来期予想	5.0	76.4	18.6	▲13.6

設備状況

前期実績	3.3	91.7	5.0	D.I. ▲1.7
当期実績	3.3	90.0	6.7	▲3.4
来期予想	1.6	95.1	3.3	▲1.7

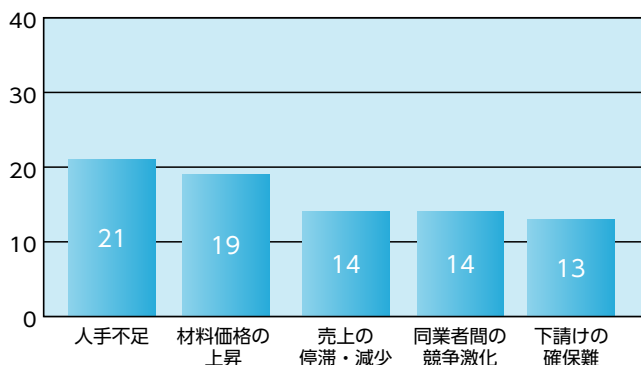
当期実績…27年 1～3月期
来期予想…27年 4～6月期

良い、増加、上昇
過剰、楽

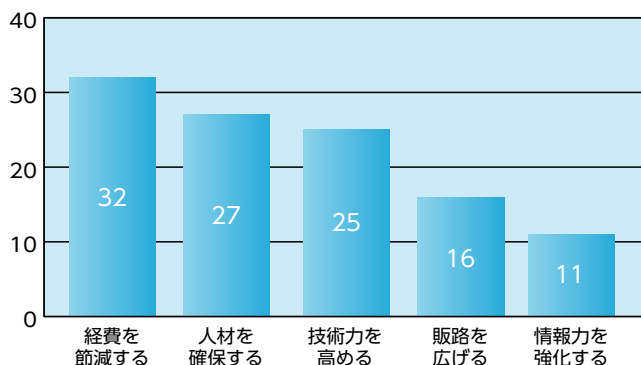
普通、変わらず
適正

悪い、減少、下降
不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



不動産業

概況

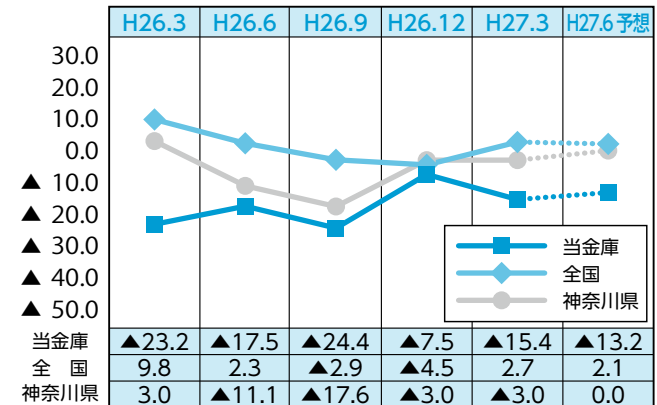
不動産業の業況判断 D.I. は前回調査比 7.9 ポイント悪化の▲15.4 となりました。

項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 0.2 ポイント悪化の▲5.2、収益 D.I. は 5.0 ポイント改善の 0.0、資金繰りは 2.3 ポイント改善の▲10.2 となっております。依然として、秦野・伊勢原地区は物件の動きが鈍いことから、厚木・海老名・相模原等の県央地区や湘南地区に物件を求めていく動きが見られます。一部企業においては、競売物件を中心に仕入をしているが、県央地区や湘南地区では競合が多く、落札が厳しいとの声が見受けられます。

なお、全国は 7.2 ポイント改善の 2.7 となっており、神奈川県は横ばいの▲3.0 となっております。

来期の予想業況判断については、2.2 ポイント改善の▲13.2 となっております。

業況判断 D.I. 値



売上額

前期実績	20.0	55.0	25.0	D.I. ▲5.0
当期実績	15.3	64.2	20.5	▲5.2
来期予想	10.2	66.8	23.0	▲12.8
前年同期比	23.0	43.7	33.3	▲10.3

販売価格

前期実績	10.0	60.0	30.0	D.I. ▲20.0
当期実績	5.1	74.4	20.5	▲15.4
来期予想	5.1	69.3	25.6	▲20.5

在庫

前期実績	22.5	52.5	25.0	D.I. ▲2.5
当期実績	10.2	71.9	17.9	▲7.7
来期予想	12.8	61.6	25.6	▲12.8

人手

前期実績	2.5	80.0	17.5	D.I. ▲15.0
当期実績	92.2	7.8		▲7.8
来期予想	86.9	13.1		▲13.1

収益

前期実績	20.0	55.0	25.0	D.I. ▲5.0
当期実績	12.8	74.4	12.8	0.0
来期予想	2.5	77.0	20.5	▲18.0
前年同期比	15.3	54.0	30.7	▲15.4

仕入価格

前期実績	17.5	75.0	7.5	D.I. 10.0
当期実績	5.1	84.7	10.2	▲5.1
来期予想	5.1	84.7	10.2	▲5.1

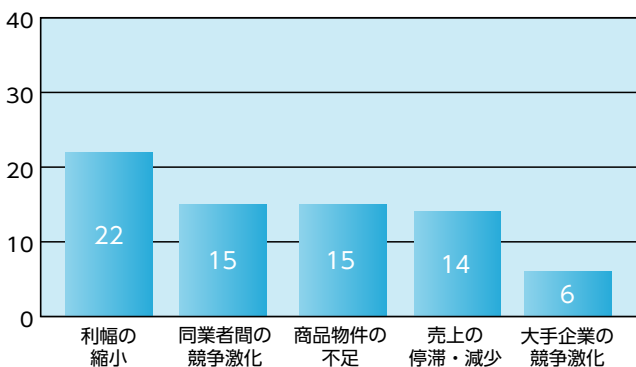
資金繰り

前期実績	7.5	72.5	20.0	D.I. ▲12.5
当期実績	5.1	79.6	15.3	▲10.2
来期予想	7.6	77.1	15.3	▲7.7

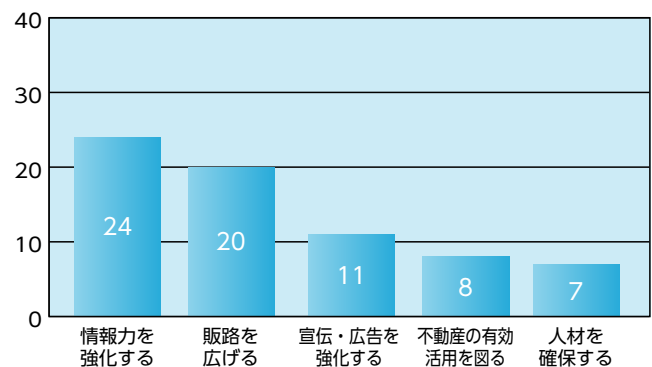
当期実績…27年 1～ 3月期
来期予想…27年 4～ 6月期

良い、増加、上昇 普通、変わらず 悪い、減少、下降
過剰、楽 適正 不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



当金庫のお客様 330 社にお願いして特別調査を実施いたしました。

問 1. 2014 年 12 月 27 日に、政府から、地方創生のための「まち・ひと・しごと」にかかるビジョンと戦略が公表されました。「地方における安定した雇用（しごと）を創出する」という基本目標のなかで、「力強い地域産業の競争力強化」の必要性が示されています。貴社における新たな「しごと」づくりについて、最大 3 つまでお答えください。

1 位 販路開拓（海外含む）の強化	102 社	6 位 企業間連携への参加・強化	54 社
2 位 増産・営業力の強化	98 社	7 位 新規事業の立ち上げ（起業）	17 社
3 位 検討していない	91 社	8 位 不採算部門の縮小等による業態転換	16 社
4 位 新商品・サービスの開発	88 社	9 位 産学官連携への参加・強化	8 社
5 位 地元金融機関との連携強化	64 社	10 位 その他	0 社

問 2. ビジョンと戦略では、「地方への新しいひとの流れをつくる」という基本目標が掲げられています。こうしたなかで、貴社では、今後の人材の確保に向けてどのような対応が考えられますか。最大 3 つまでお答えください。

1 位 わからない	122 社	6 位 給与水準の引上げ	49 社
2 位 中途採用の拡充	92 社	7 位 福利厚生（住居等）の充実	29 社
3 位 新規採用の拡充	68 社	8 位 地元大学・高専・高校・中学への PR の拡充	19 社
4 位 女性の活躍の場の拡充	59 社	9 位 遠隔勤務（テレワーク等）	7 社
5 位 ハローワークとの連携強化	56 社	10 位 地元外の大都市圏にある大学への PR の拡充	4 社

問 3. 「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」という基本目標が示されるなかで、貴社では、子育て世代に対応するため、今後の職場環境づくりでどのような対応が考えられますか。最大 3 つまでお答えください。

1 位 わからない	153 社	6 位 非正規雇用の正規化	37 社
2 位 勤務時間面での子育て支援の拡充	88 社	7 位 保育施設（託児所）等での子育て支援の拡充	24 社
3 位 出産休暇・育児休暇の取得促進	53 社	8 位 結婚希望者の実現支援	19 社
4 位 年次有給休暇の取得促進	47 社	9 位 職務・地域を限定する等多様な正規雇用の導入	18 社
5 位 金銭面での子育て支援の拡充	40 社	10 位 ハラスメント問題への対応強化	7 社

問 4. 「時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する」という基本目標のなかで、地域の課題は地域で解決する観点からの各種施策が示されています。貴社では、こうした施策全般に対して、地元自治体にどのようなことを期待していますか。最大 3 つまでお答えください。

1 位 助成金等補助制度の拡充	123 社	6 位 規制緩和の拡充	54 社
2 位 地産地消・地元発注の拡充	90 社	7 位 公共施設・公的不動産の有効活用	36 社
3 位 医療・福祉等生活サービスの拡充	84 社	8 位 公共交通の維持・拡充	33 社
4 位 まちおこしの支援拡充	75 社	9 位 地域防災の充実	31 社
5 位 期待していない	61 社	10 位 都市機能の集約・コンパクト化	15 社

問 5. ビジョンと戦略では、「東京一極集中の是正」が大きな克服課題の一つとされるとともに、「地方中核都市」には大都市圏への人口流出を食い止める機能が期待されています。貴社では、これらに対してどのように受けとめていますか。

① 東京一極集中の是正に対して

1. 非常に期待している	6 社
2. 期待している	93 社
3. あまり期待していない	134 社
4. まったく期待していない	29 社
5. どちらともいえない	90 社

② 地方中核都市の機能強化に対して

6. 非常に期待している	16 社
7. 期待している	97 社
8. あまり期待していない	66 社
9. まったく期待していない	24 社
0. どちらともいえない	79 社

経営のポイント!

『事業承継について②』

前々号では、事業承継を進める手順について、前号では、当金庫と事業承継センター(株)との包括的事業提携について掲載いたしました。今号では、具体的な承継方法についてご紹介します。

【具体的な対策例】

親族内承継

- 関係者の理解
- 後継者教育
- 財産の引継ぎ
 - ① 生前贈与の検討
 - ② 遺言の活用
 - ③ 自社株の納税猶予制度活用 等

従業員等に承継

- 関係者の理解
- 後継者教育
- 個人保証・担保の処理
- 財産の引継ぎ
 - ① 後継者へ経営権集中
 - ② 種類株式の活用
 - ③ MBO の活用 等

M & A

- M&A に対する理解
- 仲介機関への相談
- 売却価格の算定
- M&A の実行
- M&A 後の統合プロセス

経営者皆さまご自身で築かれた大切な資産、事業の引継ぎを円滑に進めるため早期から計画的に準備をすることが大切です。

当金庫では、中小企業の皆さまが抱える事業承継に関する様々なお悩みに対し、事業承継センター(株)、(株)日本 M&A センター、信金キャピタル(株)と連携した支援を行ってまいりますので、お気軽にご相談ください。